

平成29年度 西糀谷しろはと保育園事業報告

1. 概要

①運営報告

- 大田区待機児童対策として、区は認可保育所を始め保育園の定員拡充を進めており、当初の定員目標700名を1100名に修正し、整備を進めた結果、私立保育園が95園に拡大されました。
- 保育士の人材確保や離職防止のための宿舍借り上げ補助金の活用や、職員の働き方を改善し離職防止に繋がりました。さらに、東京都では、非常勤職員も含めた賃金改善や処遇改善を行ない、大田区でも「保育士応援手当」を月に1万円の支給がありました。
- 職員の研修の充実を図り、運動遊び、危機管理、子育て支援、要支援児の研修、また保育指針改正に伴い研修を行ない職員の質の向上に努めました。
- 東京都の木育推進事業として、「木育」の活動計画を立て取り組みました。子どもの自然への興味関心を広げるとともに職員の知識の向上、そして保護者や地域も巻き込んだ活動を行うことで、園の興味や木育事業への関心を広げることができました。

②定 員 129名

③事業日数 295日（年末保育の12月29、30日を含む）

④開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
年末保育期間 8時30分から18時30分

⑤保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑥職員数 園長 1名、主任保育士 1名、保育士 19名
パート保育補助 7名、看護師 1名 嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む
- 保護者と信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさのある子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	おたまじゃくし組	12名	保育士4名	看護師1名
1歳児	めだか組	18名	保育士4名	
2歳児	かに組	24名	保育士4名	
3歳児	かえる組	25名	保育士2名	
4歳児	とびうお組	25名	保育士2名	
5歳児	くじら組	25名	保育士2名	

主任保育士1名

障害児担当加配保育士 2名（有資格者・パート）

早朝・延長保育担当保育補助4名

園児 計129名 保育士

⑤保育内容

- 子どもの姿を捉えた環境構成や援助の仕方など、ピラミッドメソッドによる小グループでの環境保育を行なうことで子どもたちは安定して過ごすことが出来ました。また、発達や安全面を考えた遊具や保育環境の見直しを行ないました。
- 子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊び(3回)と週1回の体育遊びを日々の積み重ねとして丁寧に取り継続しています。
- 異年齢交流・中学生との交流・お年寄りとの交流など、日常保育や行事、夏休みなどの機会を利用し交流を深めるようにしました。
- 子どもの人権については、日常保育の中から子ども同士のトラブルや人とのかかわりなどを通して、朝の会や帰りの会の時間を利用し子ども同士で考える。また保育士の言動などを振り返りながら話し合う機会を設けました。
- 食育計画に基づき、給食委託事業者と連携を図り、子どもの食への興味や関心を深め、命の尊さを感じることが出来る保育をめざして、みそ造り、サンマの食材の成育についてパネルを使って学び観察をして丸ごと食べる経験をしました。また、日本の伝統行事を中心に調理業者から

食材への説明や調理について子どもたちへ説明をする。さらに給食づくりへの参加（定期的な野菜の皮むきやおにぎり作り）や夏野菜を栽培してそれを食材にするなど、食への興味を広げるようにしました。

- 木育活動では「自然とのふれあい」「ものづくりを通して仲間づくりや体作りを大切」に生きる力を育てる事を目標に活動をする

	ソフト事業ワークショップ	388.800 円
6月	・丸太切りワークショップ	・各 60,000 円
10月	・バードコールワークショップ	
12月	・釘写真立てワークショップ	
1月	・お箸づくりワークショップ	
3月	・花壇ワークショップ	・120.000 円

大田区の事業として、7月に糀谷の防災公園で東京 2020 オリンピック、パラリンピック開催に向けてアゲハチョウの舞うおもてなしの街づくりを推進しようと、オープニングセレモニーが実施され、大田区の「木」クスノキを植樹し、新聞に取り上げられ地域貢献をすることができました。

⑥家庭との連携

- クラス懇談会（年2回）、個人面談（年1回、また随時受け付ける）、保育参観または保育参加を（年1～2回）実施し写真やスライドを利用して日常保育の様子を知らせ保護者同士のつながりや子育て情報の共有を図りました。また、年度末に2～4歳児を対象にエール社の運動遊びやふれあい遊びを親子で実施し、加えて保護者対象で講演をして頂いたことで、からだ作りや親子のコミュニケーションについて保護者が考える良い機会になりました。
また、保護者と共に個々の育ちを確認し年間目標を立て、年度末には結果を見直し次年度の目標にする「すくすくプラン」など計画的な取り組みをしました。
- 保護者からの要望や意見は、日常の保育に関すること、行事や保護者会の後に必ずアンケートを実施し、保護者のニーズを把握するとともにその集計結果は保護者にフィードバックすることができました。また年度末には利用者アンケートを実施しました。
- 保護者の危機管理意識を高める為に、園主催の防災研修（1回）に参加してもらい、防災や減災について園の方針を口頭や文書で伝え、協力の依頼をお願いしました。

⑦人材育成

- 大田区主催の職場研修や施設見学に参加するとともに、心理の先生による子どもへの関わり方を学びながら巡回相談、集団巡回、作業療法士による指導、視覚障害研修（各1回）など子どもを通して学ぶ機会が多くありました。そして、全体職員の研修では子育て支援の研修（2回）エール社の運動研修（2回）就学に向けての研修（1回）防災研修（2回）と幅広く研修で学ぶことが出来ました。
園内研修では、自然、わらべうた、絵本などグループに分かれて職員が中心となり勉強会を実施しました。絵本は貸出絵本の充実にとどまりましたが、自然とわらべうたについては継続して学んでいきます。

- 保健年間計画を基に、看護師が年1回感染症やAEDの使用方法について訓練しました。また大田区の防災課に依頼し危機管理について研修を実施するとともに、おう吐処理、手洗い指導などシミュレーションをしながら職員の意識向上に取り組みました。救急法2級の更新をしました。

⑧地域の実態に対応した事業

- 区の出張所や児童館の掲示板を活用し、地域の親子が情報収集しやすいようなホームページでお知らせし、子育て支援についての情報発信を行ないました。(行事記録参照)大田区の補助金を活用したことで、人形劇やコンサートなど内容を充実することが出来ました。
- 公立保育園との三園交流を5月から2月の間毎月1回、年間10回実施しました。ドッチボールやかけっこなどの運動遊びやゲーム遊びなどを取り入れ、一年間交流できたことで子どもたちの新たな仲間づくりができ、入学への期待が膨らみました。また3園交流では、活動の計画や反省をしていくことで職員の良い刺激になりました。
- 保育人材確保育成(保育拠点活動支援)として、小中高12日間の保育参加。専門学校や大学の実習生10名の受け入れ(5校)、東京都の支援員研修1名、出産を迎える親への支援(12名)など人材の育成に貢献できたことで東京都の補助金を受けました。また、実習生を受け入れることで、日常の保育を振り返る良い機会になりました。

地域の社会資源との連携

地域行政、民生委員、保健師などと連携を強化し地域連絡会(2回)、歯科衛生士による歯みがき指導(1回)育児困難家庭の支援の為保健師や子ども家庭支援センターとの連携や関係者会議を実施し保護者の子育てを見守りました。毎月の出欠席の確認を区への報告が義務付けられている家庭が1組と、保健師や児童相談所との電話確認や地域福祉課との連携などを行ない子育て困難家庭の支援をしました。

⑨苦情処理

- 第三者委員2名を設置し、委員の所属、連絡先を記入したポスターの張り出しを行い保護者の苦情に対応しています
- 「みんなの声」と称した保護者の意見箱を設置していますが利用者はありません。苦情や意見を口頭で伝えてくれるような職員と保護者の関係を築くように心がけています。
- 保護者の必要とする情報は、丁寧に繰り返し伝え、クラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任が対応し、クラスと保護者の信頼関係を深めるようにしています。

⑩リスクマネジメント

- 大田区で実施している年一回の施設点検(建築、設備)、各クラスの環境の安全面点検を月に1回実施し、職員のリスクマネジメントに対する意識を高めました。また、ヒヤリハットの記録の方法を変えて職員がすぐに日常保育の改善策を考えていくようにしました。
- 防災計画に基づいた避難訓練を実施し、万一の大震災、非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法(一斉送信メールの活用など)職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い、

食糧や救急用品など備蓄品についての点検を4月と防災の日の9月に実施しました。さらに、備蓄品を年長、年中のみ個人用を購入して頂きそれを非常時に各自持ち避難する訓練を実施しています。また、保護者や職員子どもの防災意識を高める為に大田区役所に依頼し職員と保護者も含めた防災の研修を1回実施しました。また、今年度は、職員の救急救命2級の更新年になり全員で、更新が出来ました。

- 食の安全の視点から給食委託業者との連携が必須ですが、委託事業者の職員の途中退職がありましたが、安定していました。またアレルギーの確認や献立内容の確認も事前に毎月計画的に行なうことができました。
- 総務省の行政監査があり、危機管理について調査依頼がありました。特に指摘事項はなく、職員の安全、衛生面について再確認が出来ました。



西糀谷しろはと保育園

平成29年度年間行事反省

月	行事	保護者参加行事	地域活動
4月	進級式 3日(月) 入園日 3日(月) パネルシアター 造形 20日(木)	入園日 3日(月) 新入児オリエンテーション 5歳児保護者会 22日(土)	
5月	こどもの日の集い 9日(火)(3・4・5歳児) 歯科健診 18日(木) トムテ 26日(金) エール運動遊び 30日(火)	2歳.4歳保護者会 20日(土)	こどもの日の集い ベビーマッサージ
6月	歯みがき指導 9日(金) 人形劇 13日(火) 造形 20日(火)	1歳.3歳保護者会 4日(土) 0歳保護者会 10日(土)	
7月	七夕夏祭り 6日、7日(土) 造形 20日(木) パネルシアター28日 サマーコンサート 25日(火)	夏祭り	夏祭り 健康教育 パネルシアター
8月	造形 23日(水)		水遊び
9月	防災の日 1日(月) 造形 5日(火) プール締め 4日(月) ぽかぽか交流会 15日(金) パネルシアター22日(金) 運動会 30日	引取り訓練 運動会	パネルシアター バランスボール 運動会
10月	パフォーマンス 3日(火) 造形 12日(木) 交通安全教室 26日(木) 園外保育 20日	パフォーマンス 3日(火)	冬の健康指導 バランスボール
11月	造形 10日(金) いもほり 8日(火) やきいも 17日(金) 健康診断 20日(月) トムテ 17日(金)	保育参加 個人面談	やきいも 健康教育 バランスボール
12月	生活発表会 9日(土) 造形 18日(月) クリスマスコンサート 19日(火) 餅つき会 22日(金)	5歳児保護者会 9日(土) 生活発表会 9日	もちつき クリスマスコン サート
1月	新年子ども会 11日(月) 造形 16日(月) パネルシアター26日(金)		パネルシアター 新年子どもかい
2月	節分 2日(金) エール 3日(土) 造形 16日(金) トムテ 20日(月)	保護者会 2.3.4歳児 3日(土) 0歳保護者会 7日(水) 1歳保護者会 8日(木)	節分
3月	ひなまつり 2日(金) 造形 13日(火) 年長児とのお別れ遠足 1日(木) 卒園式 17日(土) ダブルダッチ 26日 お別れ会 31日 パネルシアター23日	新入児健診 6日(火) 卒園式 17日(土)	パネルシアター ひなまつり コンサート

※ 毎月・・・計測 避難訓練 幼児健診の実施 ※その他 蟻虫検査 歯みがき指導 (年間2回)
 ※ ボランティアの活用
 ※造形遊び(月2回)・体育遊び(週1回)・英語で遊ぼう(週1回)実施